

2025年3月期 決算説明会 Q&A (2024年7月31日開催)

Q1. 海外における需要の変化や回復の兆しはあるか？

A1. 中国の景気は弱い動きが続いていますが、その中でも継続して設備投資を進めているお客様から引合、受注を獲得できるかが重要となっています。第1四半期はプラグインハイブリット車を中心とした新エネルギー車関連及び電気電子部品向けの金型が牽引役となり、受注を押し上げました。アメリカについては景気の減速感がある中でも航空機関連を中心に堅調に推移しています。ヨーロッパは航空機関連の引合は継続していますが、回復には時間を要すると見えています。

Q2. 国内の受注状況及び第2四半期以降の見通しについて

A2. 日本は半導体製造装置関連向けや、自動車関連の金型や大きな構成部品向けの引合が増加傾向にあります。期初の想定通り前四半期から今期の第1四半期がボトムとなり、緩やかに増加すると見込んでいます。

Q3. 自動化を支援する製品群の販売状況は？

A3. 7月に開催された国内の展示会で自動化システムを提案するなど、受注の獲得に努めています。第2四半期以降も国内外で開催される展示会で提案していきます。このような積極的な活動により、売上全体における自動化に関連する売上構成比率は増加しています。

本資料に記載いたしました将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績は、さまざまな要因により、記載された見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化等があります。なお業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。